



特定医療法人

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第10号

発行 / 2007年2月15日
特定医療法人社団 鵬友会
発行責任者 /
事務局長 池島 守

「家での介護あきらめていませんか？」

～ケアマネージャーの立場から～

ほうゆう介護支援事業所

管理者 遠藤 美和子

「ほうゆう介護支援事業所」は、平成12年4月介護保険制度の制定と共に、医療法人社団鵬友会の在宅部門として、訪問看護から分かれ開設されました。

現在、私を含め4名のケアマネージャーと1名の事務員で、約150名のご利用者の生活をサポートさせて頂いております。認知症の方から、人工呼吸器や中心静脈栄養（IVH）・胃瘻など医療度の高い患者様まで関わっています。

ケアマネージャーの仕事は、「ご本人」「ご家族」の想いが、できるだけ現実に叶えられるようご相談にのりながら、訪問や計画立案・調整することです。「例え『寝たきり』であっても、何かできる所からやってみましょう。」これが、私たちの目指している在宅介護なのです。「でも家で介護するのは大変なのでは？」そんな言葉も聞かれますが、『在宅介護』は欠点ばかりではありません。無反応だった方に表情が戻ったり、時には私たちもアッと驚くような改善や変化が見られることもあります。勿論、ご家族やご本人の努力に支えられている部分はかなりありますが、変化がなくても「家に帰れた」という気持ちが、喜びに



つながる事もあります。大変な部分もあるとは思いますが、365日24時間丸々はサービスが入るわけではないのですから……。それなりのリスクもあると思います。医師や看護師が、常に居るわけではないのですから……。

「最後くらいは自宅で」「一度でもいいから帰りたい。」もしこんな風に考えている方やご家族がいらしたら一度は相談してみてください。

『在宅』では、看護・医師・ヘルパー・入浴・リハビリなど自宅から離れていても、チームでケアしていきます。又、鵬友会の良さである病院との連携に関しても、退院後もサポートできるよう配慮しています。往診医（新中川病院）や他病院（湘南泉病院）連携もお手伝いしています。

「一緒に、笑顔見ませんか？」

ご相談は相談室か支援事業所まで。

TEL 045(814)3900

鳳荘 看護学生実習

阿久和鳳荘にて、相模原看護専門学校看護学生の実習で、朝の申し送り場面です。真剣に聞いています。



ヘルパーカレッジ 卒業おめでとう

ほうゆう病院会議室に於いて、「ほうゆうホームヘルパーカレッジ第6期修了式」が行なわれました。

卒業おめでとうございます！！

学んだ事を実践に活かし、頑張ってください。

前沢カレッジ長より、卒業修了書 授与



救急車に迅速に対応いたします

～ 信頼される医療を目指して ～

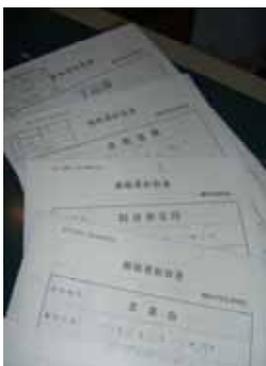
法人本部では、基本理念の1つである「地域の皆様から信頼される医療」を実践する為、2次救急病院である湘南泉病院所轄の泉区、又、隣接する旭区・瀬谷区救急隊の方々に毎年2回貴重な意見を伺っております。お褒めの言葉だけでなく、厳しい御意見やご指摘も受けませんが、院長以下職員は真摯に受け止め、改善に努めております。

以下、改善した項目の一部を記載させていただきます。

改善項目

* 救急隊からの問い合わせに迅速に対応するために

1. ホットライン（救急センターと病院の直通電話）に対する院内マニュアルを作成し、実行するようにしました。
2. 救急隊に翌月の医師夜間勤務表を手渡し、内科系・外科系ともにどちらの医師が救急対応するか周知してもらうようにしました。



救急隊からの書類（傷病者収容書）



* 救急患者さん及び家族の方に安心、信頼して頂くために

1. 医学的専門用語を使わずに分かりやすい病状説明に努めています。
2. 継続的に職員の接遇向上の研修会を行なっています。

以上、今後とも医療技術や看護技術等の向上だけでなく地域の方から信頼される医療をめざして頑張っています。